



学校給食だより



令和8年1月発行 国富町立学校給食共同調理場 [特別号]

1月24日～30日は「全国学校給食週間」です。この機会に、子供達が毎日食べている学校給食について、保護者の皆様にも理解を深めていただきたいと思います。

給食の食べ残しを減らしたい！！

国富町の学校給食は、本庄中学校在籍の河野先生と野村先生のお二人が美味しく・バランスよく・安全に食べてもらうために日々献立を考えています。

ただ、その考え抜かれた給食の中で、食べ残しが多い献立があります。それは何だと思いませんか？それは…週4回提供されている「**麦ご飯**」です。給食後に残ったご飯等が給食センターに戻ってきますが、毎日の平均残食量は、45リットルのポリバケツの8割程度、その中で麦ご飯が残食量の半分程度を占めている現状です。

学校給食で使用しているお米は宮崎県産の新米を、麦は国産のものを使用しています。麦ご飯は、通常の白米に比べてビタミンB1が多く含まれていて栄養価も高くなっています。

いきなり食べ残しをゼロにすることは難しいと思いますが、食べきれぬ量を配膳する、最初に好きなものだけを食えない、苦手なものでも少しは食べてみる、など家庭でも学校でも、どのようにすれば食べることができるのかを話し合い、工夫をしていただき、食べ残しを少しでも減らしていただきますようお願いいたします。



8割程度残食が入っている！



考え抜かれた美味しい給食の数々。残すなんてもったいない！！

学校給食費の約4割を町が補助

今年度の学校給食費1食平均（食材費のみ）は、小学校325円、中学校380円で作られています。しかし、保護者から頂いている学校給食費は、小学校209円、中学校241円です。

この差額に給食を食べている人を掛け合わせると、1日 **約17万円の赤字** が出ていることとなります。

この差額分は、町が補填しています。町の補助にはどういうものがあるかということ… 裏面へ



- ①子育て施策の一環として、保護者の負担を軽減するため、食材代を補助しています。（令和7年度予算：1,430万4千円）
- ②地元農畜産物の消費拡大を図るため、町内の野菜や肉などを購入し、学校給食に使用しています。（令和7年度予算：200万円）
- ③近年の物価高騰に対応するため、令和2年度からの食材費高騰分を補助しています。（令和7年度予算：1,900万2千円）

このほかにも、学校給食法で定められた保存食代（学校給食の小・中学校1食分を2週間冷凍保存）や、災害等により調理場でおかずを作れない時の非常食・容器等の購入代、千切大根の提供についても補助を頂いています。

国富町産の農畜産物を食べる3つの取り組み

国富町では、千切大根、ニラ、キュウリ、ピーマン、ズッキーニ、ゴーヤー、京芋などたくさんの農畜産物が生産されています。学校給食では、様々な思いを含めて、それら農畜産物を積極的に使用しています。

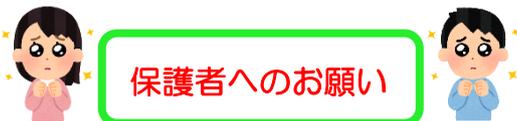
- ①皆さんの身近で作られた食材を使用することにより、安全・安心な学校給食の提供に心がけています。
- ②皆さんが食材を通じて、地域の自然や文化、産業等の理解を深めたり、生産に携わる人々の苦勞に触れたりすることで、食に対する感謝の気持ちを育みます。
- ③町からの助成（地産地消対策推進、ファン拡大事業など）により、学校給食費が値上がりしないようにしています。



町内の食材をふんだんに使った献立「京芋のけんちん汁」と「鶏肉の味噌こぼかし」

なお、学校給食には7つの目標があり、「生きた教材」とも言われ食育の柱となっています。

○健康増進 ○健全な食習慣の形成 ○豊かな学校生活と協調性の育成 ○食と自然への理解
○勤労を重んじる態度の育成 ○伝統食文化の理解 ○食料の生産・流通・消費の理解
これら実現のため、私たち学校給食関係者が一丸となって日々の業務を行っています。



保護者へのお願い

保護者から頂いた学校給食費と町からの補助金は、全額食材代に充てています。この学校給食費を納めていただかないと、その分食材を購入することができなくなり、学校給食の質や量を確保することが難しくなります。その結果、子供達の成長に影響を及ぼしてしまう可能性が出てきます。

全ての保護者が、学校給食費を納期限内に完納していただけますようお願いいたします。

